

報道関係各位

2022年9月22日  
株式会社クロス・マーケティング

## 缶詰は「賞味期限」と「手間のなさ」が魅力 女性は素材として、男性はおつまみとしても人気

－ 缶詰に関する調査（2022年） －

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「缶詰に関する調査（2022年）」を実施しました。家庭ではどのような缶詰がどのようなシーンで使われているのでしょうか。「買ったり食べたりすることがある缶詰」「缶詰の使い方や食べるシーン」「缶詰について思うこと」「缶詰のおすすめの食べ方、アレンジレシピ」について聴取し、分析しました。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220922canning/>

### ■ 調査結果

✓ **最もよく買ったり食べたりされている缶詰は「魚介類」で全体の半数近く。次いで、「フルーツ」や「野菜」の缶詰が2割ほどで続く。**

女性において「魚介類」は半数越え、「フルーツ」「野菜」3割台、加えて料理に使う「ソース系」の利用も高い。男性は「肉系」と「おつまみ系」の利用が目立つ。〈図1〉

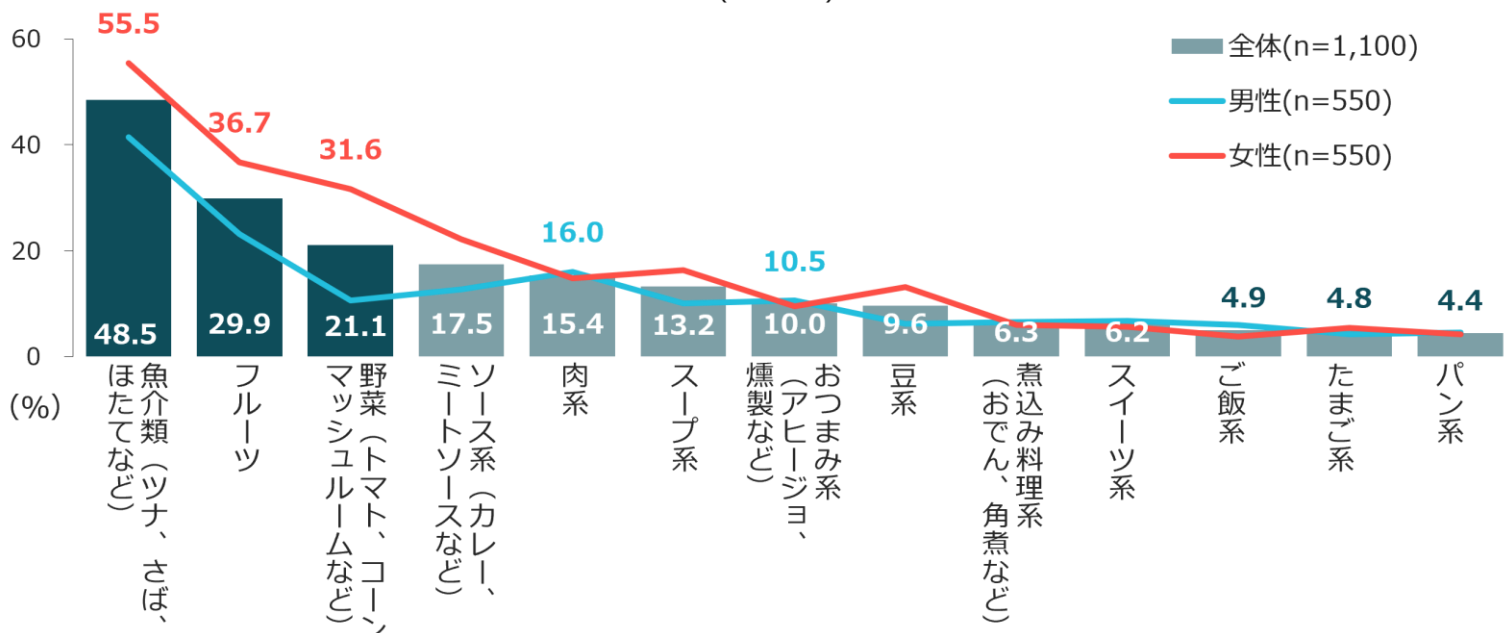
✓ **缶詰の使い方や食べるシーンでは、「料理の素材として使う」が31.4%で最多。その他、「調理等せずそのまま食べる」「食事の際の副菜として」「缶詰を少しアレンジした料理として」が2割ほどとなっている。**

女性は缶詰を「料理の素材として使う」や「缶詰を少しアレンジした料理として」など料理に活用している割合が高い。一方、男性は「酒のおつまみとして」利用している。〈図2〉

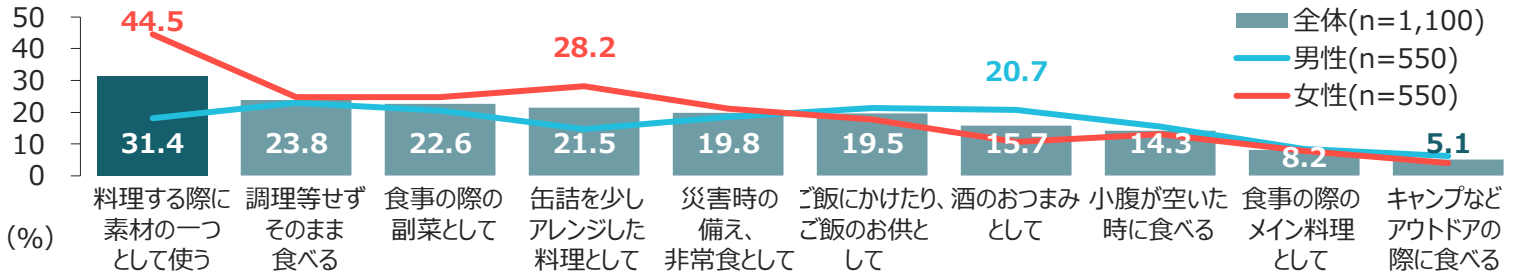
✓ **缶詰について思うことは、「賞味期限が長くて便利」「手間をかけずに食べられる」「家に何も無い時があると便利」などポジティブな意見が上位にあがっている。〈図3〉**

✓ **おすすめの缶詰のアレンジレシピとしては、「ペペロンチーノに鷹の燻製を入れる」や、「焼き鳥の缶詰と塩昆布を入れて炊いた混ぜご飯」などの回答がみられた。〈図4〉**

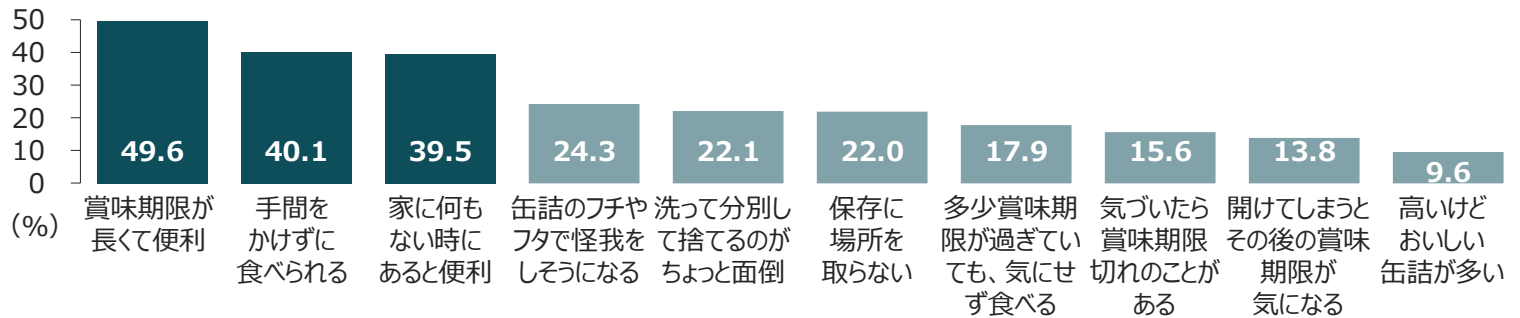
〈図1〉 普段買ったり食べたりすることがある缶詰 (複数回答)



<図2> 缶詰の使い方や食べるシーン 上位10項目 (複数回答)



<図3> 缶詰について思うこと 上位10項目 (複数回答 n=1,100)



<図4> 缶詰のおすすめの食べ方、アレンジレシピ (自由回答から一部抜粋 n=1,100)

- ・ オイルサーディン缶にニンニクスライスと鷹の爪スライスを適量に入れて、オーブントースターでクツクツするまで焼く。(60代男性)
- ・ カキの燻製の缶詰を使ってペロンチーノを豪華にします。(30代女性)
- ・ 焼き鳥の缶詰と塩昆布をごはんに混ぜて炊くと美味しい混ぜご飯が出来ます。(40代女性)
- ・ ツナ缶は野菜の無限料理によく使います。ピーマン、ゴーヤなど青臭さのある野菜やニンジンしりしりに使います。(60代女性)
- ・ 鯖味噌煮缶のほぐした鯖をレンチンしたじゃがいもと混ぜて、チーズをのせてトースターで焼くだけの簡単料理。(40代女性)

■調査項目

- 属性設問
- 昨今の状況下で、現在、あなたが「してもいい」と思う外出を伴う行動
- 普段買ったり食べたりすることがある缶詰
- 缶詰の使い方や食べるシーン
- 缶詰について思うこと
- 変わった缶詰や、おすすめの食べ方、アレンジレシピ

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220922canning/>

■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)  
 調査地域 : 全国47都道府県  
 調査対象 : 20~69歳の男女  
 調査期間 : 2022年9月16日(金) ~ 9月19日(月)  
 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>  
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F  
 設立 : 2003年4月1日  
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹  
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275  
 E-mail : [pr-cm@cross-m.co.jp](mailto:pr-cm@cross-m.co.jp)

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。  
 <例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」

